

漫湖水鳥・湿地センター

# たよひ

2004年8月20日発行 No. 14



## センターの夏休み

大人気! 夏休み講座!



海藻おしぼで  
ハガキ・シオリを作ってみよう



見つけてみよう!  
カニのひみつ



骨っておもしろい!

宿題を頑張っているのは  
子ども? それとも親??



オキナワアナジャコ  
見つけたよー!



ゲッチョ先生の

## 平成16年度 夏休み特別講座 骨っておもしろい!



7月24日(土) ゲッチョ先生こと、盛口 満先生(珊瑚舎スコーレ)による夏休み特別講座

「骨っておもしろい」が行われました。(参加者62名)

沖縄タイムス、ワラビーの連載(おもしろ博物学)でもおなじみのゲッチョ先生の登場です。夏休みとあって、たくさん子どもたちが集まりました。レクチャールームは立ち見も出る盛況ぶりでした。

大きなカバンの中から、次から次へと不思議なものを出すゲッチョ先生に、みんなの目はくぎづけでした。

骨からみる食生活など、今まで知っているつもりだった生き物たちのしくみを再発見! 動物の指の数を当てるクイズ大会もあり、正解者は賞品(亀の甲羅の骨や、化石など)をもらって大喜び。2時間があっという間に過ぎていきました。

### ★参加者の感想です★

「骨というと、死んだものという印象があったけれど、話を聞くと、生きているうちのいろんなことに気づかされて新鮮だった。」小学生

「学校の先生の授業もゲッチョ先生みたいな人だといいのになあ」

小学生

くじらの骨って  
大きいなあ!



## 平成16年度 夏休みアート教室 海藻おしばでハガキしおりを作ろう!

7月28日(水) 海藻おしばアーティストのサガラ ナオミ先生による夏休みアート教室「海藻おしばでハガキしおりを作ってみよう」が行われました。

(参加者38名、見学13名)

最近、沖縄でも話題の「海藻おしば」。こちらも夏休みでたくさんの親子連れの参加がありました。レクチャールームには、磯の香りが漂い、机の上に色とりどりの海藻が並べられました。

サガラ先生から、海藻についての講義を受けたあと、すでに準備されていたいろんな種類の海藻を水に戻しながら、ハガキに貼り付けていきました。モズクやアーサなど「食べるもの」というイメージの海藻で、こんなことができるんですね。これから海に行く楽しみがまたひとつ増えました。

### ★参加者の感想です★

「とても面白かったです。集中しながら自分できれいなハガキを好きなように作れたからです。はやくお母さんとお父さんに見せたいです。また、おうちでもチャレンジしてみたいです。」



# 平成16年度 夏休み特別講座 見つけてみよう！カニの秘密



7月31日（土）鹿谷 法一、麻夕先生（しかたに自然案内）による「見つけてみよう！カニのひみつ」が行われました。（参加者 31 名）

夏休みの自由研究はこれで決まり？のカニ講座。申込み者多数のため、参加できなかった皆さん、本当にごめんなさい。

「お気に入りのカニを見つけて観察してみよう」ということで、カニの体の仕組みを勉強した後は、漫湖へ出発！ 巣穴に逃げ込むシオマネキやフタバカクガニを、みんな泥んこになりながら、一生懸命追いかけていま

した。もう無我夢中！カニを捕まえるのは、本当に楽しいですよ。

そして、センターに戻り、それぞれ捕まえたカニを見せ合いながら、鹿谷先生に質問タイム。「カニの目はどこまで見えるの？」「何を食べているの？」など興味津々の子どもたち。

講座が終わったあとには、先生が干潟にカニを戻してくれましたので、ご心配なく。

## ★参加者の感想★

「カニは目もいいし、足も速いから、僕とは正反対だなと思った。」

「カニが穴から出入りするところが、かわいかったです。」



## ありがとうございました ～ムナグロの旅スゴロク完成！～



シベリアに出発！その前に準備運動、羽ばたき 10 回だぞ。がんばれ！

駒は石にペイント！



センターに楽しみが増えました！それは、「ムナグロの旅スゴロク」漫湖でおなじみのムナグロが、オーストラリアから漫湖を中継地としてシベリアに渡る・・・その間には、どんな試練が待ち受けているのか??遊びの中で渡りについて学ぶことができます。

夏休みから登場したスゴロクは、子どもたちに大人気！ぜひ、遊びに来てください。



「ムナグロの色を塗るのが大変でした！」

作成者：中井聡子さん

# 漫湖の仲間たち

## ～トントンミーの秘密 その2～



前回に引き続いてトントンミー（トビハゼの方言名）の話をしてします。

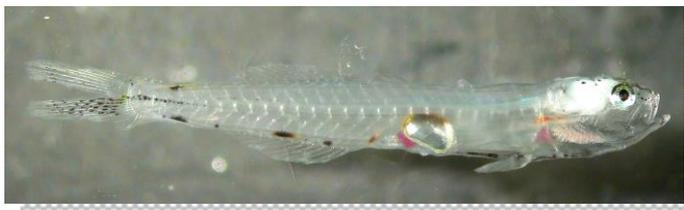
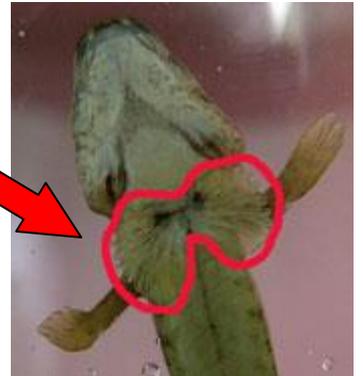
干潟の泥の上を、胸ビレを手足のように使って歩くトントンミーですが、満潮の時などには、マングローブの幹やコンクリート護岸にぴったりへばりついています。

垂直な場所でも上って行ける秘密は、腹ビレにあります。

右の写真は、トントンミーが透明な水槽の壁にくっついているのを、外側から撮影したものです。蝶ネクタイのような腹ビレが吸盤の役目をしているのです。

ちなみにこれはミナミトビハゼで、この2枚の腹ビレがくっついている（くびれが少ない）のはトビハゼです。前回、この2種は見分けが難しいと書きましたが、こんなビミョーな違いがあります。

さて、この不思議な魚トントンミーも、子どものときは下の写真のようなごく普通の姿をしています。干潟の泥の穴の中で孵化した稚魚は、海に出て2ヶ月ほど遊泳生



活をした後、干潟へ戻ってくるのです。成長して上のイラストのような姿になると、着底といってあまり泳げなくなります。

今干潟で見られる小さなトントンミーは、海から戻ってきて間もない子どもたちなのです。

## Let's Challenge !!

昨年に続き絵画コンクールを行います。そして今年は、作文コンクールも行いますよ！締め切りは9月30日です！

### 第1回 漫湖作文コンクール

センターでの学習や漫湖にかかわる行事などを通じて、鳥・昆虫・カニ・マングローブ・風景などについて感じたことを作文で表現しよう！

【応募資格】小学生（学校単位）

【応募方法】1,2年生の部 400字以内  
3,4年生の部 800字以内  
5,6年生の部 1200字以内  
一人1点

学校推薦(学校に提出)

【応募期間】平成16年7月1日～9月30日

【審査発表】平成16年11月10日

【表彰】最優秀賞 (図書券5000円)  
優秀賞 (図書券3000円)  
優良賞 (図書券2000円)  
審査員特別賞 (図書券1000円)

### 第2回 漫湖絵画コンクール

センターでの学習や漫湖にかかわる行事などを通じて、鳥・昆虫・カニ・マングローブ・風景などについて感じたことを絵で表現しよう！

【応募資格】小学生・中学生

【応募方法】画用紙4ツ切、一人1点  
絵の具の種類は問いません  
センターに郵送または、持参

【応募期間】平成16年7月1日～9月30日

【審査発表】平成16年11月10日

【表彰】漫湖大好き大賞(図書券5000円)  
生き物大好き賞(図書券3000円)  
ユニーク賞(図書券2000円)  
審査員特別賞(図書券1000円)

☆詳しくは、漫湖水鳥・湿地センターまでお問い合わせください。

# 漫湖水鳥瓦版14 ~夏から秋への足音 7月~

## 夏から秋へ

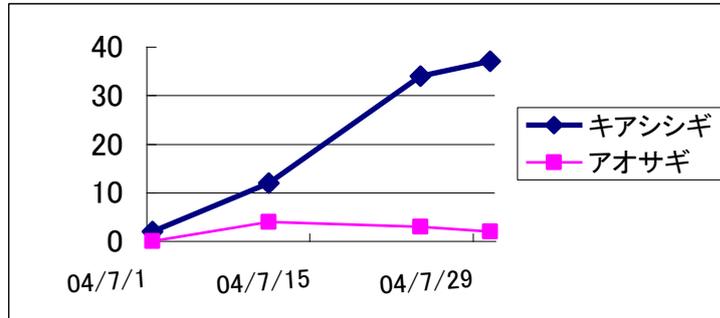


### <野鳥情報>

	羽数	先月との比較
ゴイサギ	2	→
ダイサギ	11	↑
チュウサギ	8	→
コサギ	10	→
アオサギ	4	↑
ミサゴ	3	↑
バン	3	→
シロチドリ	1	↑
メダイチドリ	3	↑
トウネン	11	↑
サルハマシギ	1	↑
アカアシシギ	9	↑
アオアシシギ	4	↑
キアシシギ	37	↑
ソリハシシギ	4	↑
ダイシャクシギ	2	→
チュウシャクシギ	3	↑
コアジサシ	7	↑
合計	123	↑

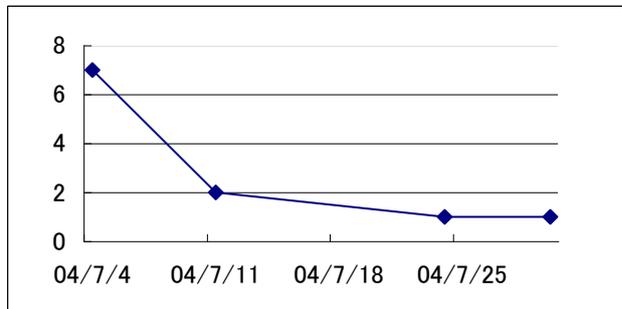
### 7月の個体数変化(羽)

～キアシシギ・アオサギ～



### 7月の個体数変化(羽)

～コアジサシ～



夏本番！7月の初期は、コアジサシが漫湖を優雅に飛んでいましたが、後半にかけて姿が少なくなりました。その代わりに、キアシシギやアオサギが姿を現しました。いよいよ秋の渡りがはじまります。沖縄はまだ暑いですが、もう秋への一歩を踏み出したようですよ。

### 7月の最多数(羽)

(注)矢印は先月の最多数と今月の最多数の比較になります。

(→同じ ↓少ない ↑多い)

### <つれづれなるままに・・・管理日誌より>

- 7月1日 子どもたちは、センター周辺のセミやカナブン、カマキリをカゴいっぱい捕まえてしあわせ気分～
- 7月2日 ポラは産卵を終えて、稚魚がいっぱい！
- 7月11日 「変なエビを捕まえた！」と、小学生がオキナワアナジャコをセンターにもって来ました。びっくり。  
コアジサシのひなが親からえさ(魚)をもらっていました。そしてゴイサギも幼鳥と一緒に、今日は生き物をいっぱい見ることができました。不思議な日。

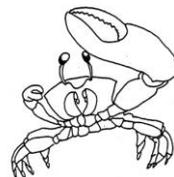
# ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

## ○利用団体 7月○

<b>&lt;学童・子ども会&gt;</b>
大里子ども会
古蔵学童
<b>&lt;小学校&gt;</b>
小祿南小学校 6 年生
糸満南小学校理科クラブ
とよみ小学校 5 年生
とよみ小学校 2 年生(2回)
<b>&lt;中学校・高校&gt;</b>
南部農林高校
伊良波中学校 1 年生(2回)
沖縄工業高校(沖縄総合事務局)
仲井真中学校 1 年生
沖縄尚学高等学校留学生
奇宮中学校
<b>&lt;専門学校&gt;</b>
アカデミー専門学校
<b>&lt;その他の教育関係&gt;</b>
新城小学校教師研修
小祿南小学校教師研修
具志頭小学校教師研修
養護学校図書館司書教師研修
<b>&lt;医療・福祉関係&gt;</b>
デイサービス あしびなー
デイサービス やすらぎの里
<b>&lt;その他&gt;</b>
琉球大学付属小学校 PTA 学級
安慶田婦人会
山里若水会

## 総入館者数

29,291 人



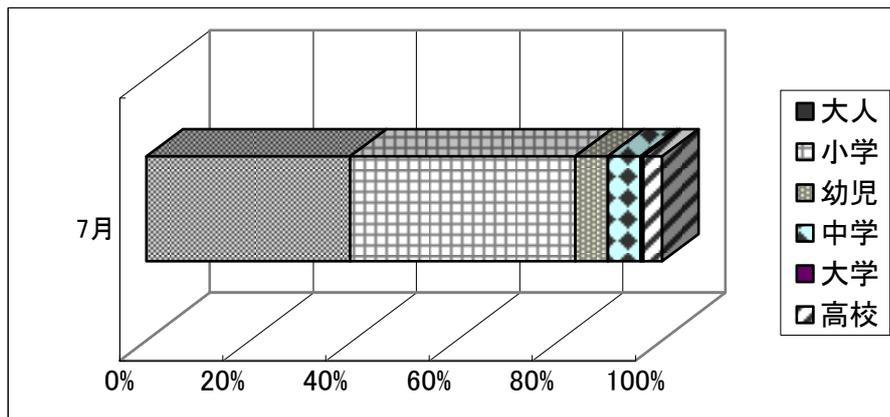
## 7月の入館者数

1,918 人 (うち団体 915 人)

## <市町村別入館者数>

	市町村名	人数
1	那覇市	949
2	豊見城市	552
3	沖縄市	114
4	西原町	50
5	県外	46

## <入館者年代別割合(%)>



毎日暑いなあ・・とっていたら、東京の方がもっと暑そうでした。沖縄は風が心地よいですが、8月は台風が続けてやってきました。植木をセンター内に入れたり、看板を移動したり・・・台風対策万全?!



宮城 靖子

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市)>

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko\_mizudori@ybb.ne.jp

HP: http:// www.geocities.jp/manko\_mizudori/